

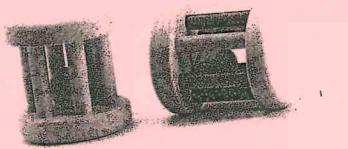
# 乳児



幼稚でも乳児でもあそびを通して  
日々成長していくことはかわりか  
ありません。遊具の力をかりよからず  
主体的にあそびで引き出す。。  
そして時子供も成長や発達に合った  
遊具を提供していくことはより乳児の方々  
に、ヨリしてしまかも知れません。  
ところで...  
とてて時期にとててもいいのか。  
ほんの一歩ですか。実際にクラスで使ってるものと御紹介します!!



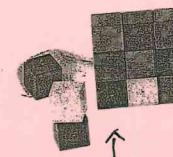
## 新生児から6ヶ月頃



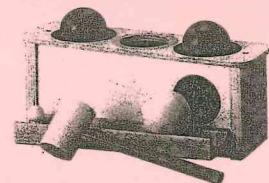
このものは手首の力がつけて  
手と握ったり何となく  
手てててててててててててててて  
音を出したり。特にこの  
ドリオという遊具は口の中...  
玉をコロコロし感覚を楽しめる  
大人気の遊具です。

手を絡ませてあそび不思議とうにいって自分の手を見つめると  
何度も試すうちにくり返してから見えてくる手足が自分の身体の延長で  
あることがわかるときます。あと遊具に触ったり、握ったり、口に入れてすることでの  
ものの存在に気づいたらまた新しい世界が広がります。

## 6ヶ月から2才頃



型おとし



うまくかくす"かたかいかか  
玉がボタンと落ちることか  
あります。「あー!」  
よくするだ!

と思った失敗ごとに、  
箱の中から出でます。  
見つけようとも無くよく  
でるところと気がせこ  
くれる遊具

同じあそびをくりかえすのが「子どもあそび」  
特徴であり、この中にこそ「つかなすことの秘密」があります。  
子どもは手を使つて自分の力でつかつていて...自分の手で  
くりかえしくりかえみをひ、あそびをつくしていきます。  
何度もくりかえすのが「つかなことの満足感や情緒の安定に  
つながっています」。自分自身の手でつかなすことの大半はあります。

## 1才半から2才頃



この他にも保育園には  
手作り遊具が多いですよ!!  
ほとんどの大人の手作り  
で興味のあるモノか  
あとは声をかけて下さる

自分で  
することと同じことをやって  
みたり世話をあそび。乳児も乳児も  
よくあそびます。乳児はソーラー触りがけ  
ねきやすいうものと遊びでいるようです。  
はじきしていふ一層のもうや  
色や大きさから段階あるものが  
子ともは自分で考えながら遊びます。  
そしてこの頃はぐうとじが育ちつかま

喜びを感じ、様子は社会にも出会っていきます。  
ニギニ、お世話を、ルールのあそびでとして言葉がと  
「一緒に」も樂めようになってしまいます。